



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月7日

上場会社名 株式会社 第一興商 上場取引所 東  
 コード番号 7458 URL <http://www.dkkaraoke.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 三郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 小林 成樹 TEL 03 (3280) 2151  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 平成26年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	65,046	0.2	9,688	△4.0	10,791	△0.6	6,491	5.3
26年3月期第2四半期	64,924	3.5	10,089	6.6	10,859	7.1	6,167	4.3

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 6,251百万円 (9.5%) 26年3月期第2四半期 5,706百万円 (△10.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	111.75	—
26年3月期第2四半期	103.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	173,013	106,321	60.8
26年3月期	161,587	102,268	62.6

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 105,142百万円 26年3月期 101,114百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	30.00	—	35.00	65.00
27年3月期	—	50.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	35.00	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	134,000	2.6	19,500	1.9	21,300	0.3	12,200	△6.8	210.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細につきましては、【添付資料】P. 4「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	58,025,000株	26年3月期	58,225,000株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	2,766株	26年3月期	2,714株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	58,093,822株	26年3月期2Q	59,722,286株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年9月30日、以下「当第2四半期」という)におけるわが国経済は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減に加え、7月及び8月の台風や豪雨の悪天候による個人消費の落ち込みや物価上昇の懸念など、依然として予断を許さない状況が続いております。

当カラオケ業界におきましては、ナイト市場の店舗減少傾向が続くものの、カラオケボックス市場においては、大手事業者の出店意欲は旺盛であり、カラオケルーム数は増加基調にあります。また、成長が期待されるエルダー市場の堅調な拡大もあり、市場全体のカラオケ稼働台数は微増で推移しております。

この様ななか、各事業におきまして諸施策を実施した結果、当第2四半期の業績は、売上高は65,046百万円(前年同期比0.2%増)、営業利益は9,688百万円(同4.0%減)、経常利益は10,791百万円(同0.6%減)、四半期純利益は6,491百万円(同5.3%増)となりました。また、売上高と四半期純利益は、当第2四半期における過去最高を更新いたしました。

(百万円)

	前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	64,924	65,046	122	0.2%
営業利益	10,089	9,688	△400	△4.0%
経常利益	10,859	10,791	△68	△0.6%
四半期純利益	6,167	6,491	324	5.3%

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(業務用カラオケ)

当事業におきましては、商品面では市場より高い支持を得ているLIVE DAMシリーズの第三世代機種「LIVE DAM RED TUNE」を本年4月に発売し、商品ラインアップの充実を図りました。また、営業面ではストック型ビジネス構造の強化を継続して推進し、機器賃貸の出荷比重を高めることに加え、エルダー市場の拡充などの施策を強化しました。その結果、安定収益源となるDAM稼働台数および機器賃貸契約件数は順調に増加いたしました。

しかしながら、前期の大手事業者向け取引が剥落したことにより、売上高は前年同期比5.0%減少し、営業利益は前年同期比1.1%の減少となりました。

(百万円)

	前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	33,736	32,056	△1,680	△5.0%
営業利益	7,327	7,244	△82	△1.1%

(カラオケ・飲食店舗)

当事業のカラオケルームにおきましては、新店開発および幅広い顧客を取り込むためのマルチブランドと複合型店舗展開を進捗させました。業界初となる「コンビニエンスストア+カラオケルーム」一体型の新業態店舗への出店という新たな挑戦に加え、人気アーティスト等とのコラボルームの開発にも注力いたしました。飲食店舗におきましては、市場や顧客ニーズの変化に迅速・的確な対応を図るため、地域性や客層に合わせた業態開発に注力いたしました。

以上の結果、本年2月に取得した子会社2社の収益の寄与に加え、新店効果や既存店の改善により、売上高は前年同期比11.0%増加し、営業利益も前年同期比4.0%の増加となりました。

(百万円)

	前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	22,782	25,278	2,496	11.0%
営業利益	3,103	3,229	125	4.0%

（音楽ソフト）

当事業におきましては、「北島三郎」や「水森かおり」など安定した演歌作品に加えて、「ソナーポケット」や「愛乙女★DOLL（らぶりーどー）」などの若手作品とスタジオジブリ映画「風立ちぬ」のDVD作品が貢献いたしました。

以上の結果、リリース予定作品の延期や中止などもあり、売上高は前年同期比6.0%減少し、営業利益については原価率の高いDVDなどの映像作品の販売比率が上昇したことにより、前年同期比91.8%の減少となりました。

（百万円）

	前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	対前期増減	増減率
売 上 高	4,772	4,484	△287	△6.0%
営 業 利 益	403	33	△370	△91.8%

（その他）

当事業におきましては、BGM放送事業において光回線を活用したBGM放送サービス「スターデジ光」の拡販に努めるほか、NTT西日本と連携し家庭で高品質なカラオケを楽しめる「光カラオケBOX+@DAM」を、本年7月より提供開始するなど、サービスの拡充を図っております。

しかしながら、着メロなどの携帯電話向けサービスが低調に推移したことや、昨年10月にホテル1棟を売却したことにより、売上高は前年同期比11.2%減少し、営業利益は前年同期比17.8%の減少となりました。

（百万円）

	前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	対前期増減	増減率
売 上 高	3,632	3,227	△405	△11.2%
営 業 利 益	691	568	△122	△17.8%

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ11,426百万円増加し、173,013百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動資産では、現金及び預金が8,143百万円及びその他に含まれる前払費用が962百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が504百万円及びたな卸資産が407百万円それぞれ減少しております。

固定資産では、その他に含まれる建設仮勘定が1,382百万円及びカラオケ賃貸機器が1,236百万円それぞれ増加し、投資有価証券が587百万円減少しております。

負債の部につきましては、前連結会計年度末に比べ7,373百万円増加し、66,692百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動負債では、賞与引当金が390百万円増加し、未払法人税等が785百万円及びその他に含まれる未払金が759百万円それぞれ減少しております。

固定負債では、長期借入金が10,066百万円増加し、退職給付に係る負債が488百万円減少しております。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末に比べ4,052百万円増加し、106,321百万円となりました。

これは主に、四半期純利益による利益剰余金の増加6,491百万円、退職給付に関する会計基準の変更に伴う利益剰余金の増加447百万円、剰余金の配当による利益剰余金の減少2,037百万円及び自己株式の取得による減少603百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ7,775百万円増加し、52,156百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、税金等調整前四半期純利益が10,819百万円、減価償却実施額が6,554百万円、売上債権の減少額が503百万円及び法人税等の支払額が5,418百万円等により、前年同四半期連結累計期間に比べ1,304百万円減少し、11,442百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、有形固定資産の取得による支出が7,693百万円、投資有価証券の取得による支出が5,044百万円、無形固定資産の取得による支出が2,052百万円及び投資有価証券の売却による収入が5,224百万円等により、前年同四半期連結累計期間に比べ1,695百万円増加し、10,804百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、配当金の支払額が2,037百万円、長期借入金の返済による支出が1,907百万円及び長期借入れによる収入が11,430百万円等により、前年同四半期連結累計期間に比べ9,575百万円増加し、7,071百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年5月12日に発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更し、割引率の決定方法を平均残存勤務期間に基づく割引率から単一の加重平均割引率へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が693百万円減少し、利益剰余金が447百万円増加しております。なお、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	44,223	52,367
受取手形及び売掛金	6,403	5,899
たな卸資産	7,000	6,592
その他	6,233	7,469
貸倒引当金	△131	△138
流動資産合計	63,729	72,189
固定資産		
有形固定資産		
カラオケ賃貸機器（純額）	8,289	9,526
カラオケルーム及び飲食店舗設備（純額）	15,705	16,302
土地	26,095	26,158
その他（純額）	5,588	6,786
有形固定資産合計	55,679	58,774
無形固定資産		
のれん	1,675	1,455
その他	6,016	6,065
無形固定資産合計	7,691	7,521
投資その他の資産		
投資有価証券	14,621	14,033
敷金及び保証金	13,752	14,134
その他	6,234	6,464
貸倒引当金	△121	△104
投資その他の資産合計	34,486	34,528
固定資産合計	97,857	100,823
資産合計	161,587	173,013

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,492	4,053
短期借入金	4,501	4,164
未払法人税等	5,375	4,590
賞与引当金	1,103	1,494
その他	11,174	10,000
流動負債合計	26,647	24,303
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	13,367	23,433
役員退職慰労引当金	2,296	2,306
退職給付に係る負債	5,075	4,587
その他	1,932	2,061
固定負債合計	32,670	42,388
負債合計	59,318	66,692
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	12,350	12,350
資本剰余金	4,001	4,001
利益剰余金	84,926	89,225
自己株式	△7	△8
株主資本合計	101,270	105,568
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,172	810
土地再評価差額金	△777	△777
為替換算調整勘定	51	93
退職給付に係る調整累計額	△602	△552
その他の包括利益累計額合計	△156	△426
少数株主持分	1,153	1,178
純資産合計	102,268	106,321
負債純資産合計	161,587	173,013

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	64,924	65,046
売上原価	37,522	38,535
売上総利益	27,402	26,511
販売費及び一般管理費	17,312	16,823
営業利益	10,089	9,688
営業外収益		
受取利息	386	526
受取協賛金	231	242
その他	585	544
営業外収益合計	1,203	1,312
営業外費用		
支払利息	147	138
為替差損	173	-
その他	112	71
営業外費用合計	433	209
経常利益	10,859	10,791
特別利益		
固定資産売却益	3	14
投資有価証券売却益	-	173
特別利益合計	3	187
特別損失		
固定資産処分損	135	159
その他	66	0
特別損失合計	202	159
税金等調整前四半期純利益	10,660	10,819
法人税、住民税及び事業税	4,765	4,685
法人税等調整額	△325	△387
法人税等合計	4,440	4,298
少数株主損益調整前四半期純利益	6,220	6,521
少数株主利益	52	29
四半期純利益	6,167	6,491

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,220	6,521
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△611	△361
為替換算調整勘定	98	41
退職給付に係る調整額	-	49
その他の包括利益合計	△513	△269
四半期包括利益	5,706	6,251
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,654	6,221
少数株主に係る四半期包括利益	52	29

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	10,660	10,819
減価償却費	6,293	6,554
賞与引当金の増減額(△は減少)	444	390
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	63	10
受取利息及び受取配当金	△473	△617
支払利息	147	138
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△173
為替差損益(△は益)	105	△41
固定資産処分損益(△は益)	132	144
売上債権の増減額(△は増加)	1,867	503
たな卸資産の増減額(△は増加)	△96	413
カラオケ賃貸機器の売上原価振替	210	135
仕入債務の増減額(△は減少)	273	△446
未払金の増減額(△は減少)	△1,907	△16
その他	△775	△1,430
小計	16,945	16,386
利息及び配当金の受取額	491	610
利息の支払額	△146	△135
法人税等の支払額	△4,544	△5,418
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,746	11,442
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期性預金の預入による支出	△39	△140
定期性預金の払戻による収入	148	198
有形固定資産の取得による支出	△6,214	△7,693
有形固定資産の売却による収入	7	20
無形固定資産の取得による支出	△1,689	△2,052
映像使用許諾権の取得による支出	△1,000	△985
投資有価証券の取得による支出	—	△5,044
投資有価証券の売却による収入	0	5,224
貸付けによる支出	△354	△175
貸付金の回収による収入	343	345
敷金及び保証金の差入による支出	△553	△665
敷金及び保証金の回収による収入	247	219
その他	△4	△54
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,109	△10,804
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	75	207
長期借入れによる収入	1,260	11,430
長期借入金の返済による支出	△1,726	△1,907
配当金の支払額	△2,090	△2,037
自己株式の取得による支出	—	△603
その他	△20	△18
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,503	7,071
現金及び現金同等物に係る換算差額	△24	66
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,108	7,775
現金及び現金同等物の期首残高	41,963	44,381
現金及び現金同等物の四半期末残高	43,071	52,156

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報  
前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	33,736	22,782	4,772	61,291	3,632	64,924	—	64,924
セグメント利益 (営業利益)	7,327	3,103	403	10,834	691	11,526	△1,436	10,089

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、BGM放送事業、Web事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,436百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	32,056	25,278	4,484	61,819	3,227	65,046	—	65,046
セグメント利益 (営業利益)	7,244	3,229	33	10,507	568	11,075	△1,387	9,688

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、BGM放送事業、Web事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,387百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要性が乏しいため、記載を省略しております。